

平成 30 年度

# 農業委員会事務局

## の取り組み実績

### 1. 重点施策・事業

(1) 農業委員会の円滑な運営	
方向性	平成 29 年 7 月に新制度に基づく農業委員会に移行しており、農業委員及び農地利用最適化推進委員による農業委員会総会・協議会や常任委員会その他の会議や農地パトロール等の現地活動について、引き続き円滑な運営に取り組みます。
取り組み	毎月の農業委員会総会における許可案件等について、法令に基づく的確な審議を行うとともに、普段の調査・相談活動において、委員等と事務局職員との一層の情報共有を図るなど、円滑な運営に努めます。また、農業委員会制度等についての研修会を実施します。 平成 30 年度当初予算：1,740 千円
実績	農業委員会総会においては、法令に基づき農地の権利移動や転用等について、専決事項の報告や審議を行いました。(農地法各種許可・受理件数 193 件) 7 月 17 日には「本市の農業振興施策」「農地銀行制度」「農地法」「生産緑地制度」等をテーマに研修会を開催し、普段の調査・相談活動においても、委員等と事務局職員との間で情報共有を図りました。 平成 30 年度決算：453 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 農地銀行による農地貸借の結び付けの強化	
方向性	担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等の農地利用の最適化を推進するため、引き続き、農地銀行（農地の貸借等を進める組織）による農地貸借の結び付けの強化に向けた取り組みを進めます。
取り組み	農地銀行に係る農地貸借希望台帳の登載件数を増やし、農地の貸し借りの希望者が閲覧することで、双方の結び付けにつなげます。また、農業委員会発行の「農委だより」への記事掲載等により、農地銀行制度や農地貸借希望台帳の啓発・周知に努めます。 《目標値》 新規集積面積：2ha（平成 25～29 年度の増加面積：9.4ha） 平成 30 年度当初予算：147 千円

実績	7月17日の農業委員会研修会では農業委員・農地利用最適化推進委員のほか、JA北河内各支店長にも出席を依頼し、農地銀行制度の説明と意見交換を行い、併せて各支店でのチラシ配架を依頼しました。
	また、8月に「農委だより」を3,500部発行し、市内の全JA組合員への情報提供を行いました。 《実績値》新規集積面積：3ha（平成26～30年度の増加面積：11.5ha）
平成30年度決算：103千円	
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) 農地適正管理システムの精度向上	
方向性	農地台帳及び農地に関する地図について、インターネットの利用等による公表が法定化・義務化されていることから、農地の農業上の利用の増進及び農地の利用の調整に資するほか、農地法に基づく許可事務等法令業務や農地利用の最適化の推進のため、農地適正管理システムの精度向上を図ります。
取り組み	的確な農地情報（農業者、所在、地番、面積等）の把握に努め、農地適正管理システムの精度向上を図ります。また、システム稼働前の農地転用に係る許可・届出物件のデータベース化を進めます。
平成30年度当初予算：1,586千円	
実績	農地の権利移動や転用の許可案件等について、農地適正管理システム（農地の所有者・所在・面積等の情報を管理）への入力を行うとともに、過去の案件について、エクセルで入力しデータベース化を行いました。 農地情報を公表するための国のシステムである農地情報公開システムについては、台帳と地図の情報を一つのデータベースで管理していることから、効果的な活用方法について検討するため、他市の事例などの調査・研究を行いました。
平成30年度決算：1,449千円	
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

## 2. 行政改革・業務改善

### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
窓口サービスの充実	農地法に基づく許可事務等の各種手続きについて、申請者の理解がより得られるよう、申請書見本、必要書類一覧等の改善を図ります。
実績	農地転用の手続き等に来庁された申請者が、より理解しやすいよう、職員のスキルアップのための情報交換とチェックリストの改善などに取り組みました
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
ワーク・ライフ・バランスの推進	職場における業務のスリム化や執行体制の工夫・意識改革により、時間外勤務の縮減や休暇取得の促進に努めます。
実績	農業委員会総会に関する事務については、議案書作成など各種業務を輪番制とし、業務を平準化することで時間外勤務の縮減や休暇取得の促進に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

### 3. 予算編成・執行

- ◆農地適正管理システムの精度向上に向けて、国の補助制度の積極的な活用を図ります。

実績	平成 30 年度機構集積支援事業費補助金の交付を受け、農地の転用台帳等の整理を行い、農地適正管理システムの精度向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆農業委員及び農地利用最適化推進委員とともに農業者年金の加入推進活動を行い、新規加入者を増やすことにより、委託手数料の増収を図ります。

実績	農業委員及び農地利用最適化推進委員とともに農業者年金の加入推進活動を行い、農業者年金業務委託手数料の交付金の確保に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

### 4. 組織運営・人材育成

- ◆事務局内において運営方針に基づく組織目標の共有化を図るとともに、目標達成を確実にするため、各業務の取り組みに係る進捗管理を徹底します。

実績	組織目標の共有化を図り、各業務の進捗管理を徹底することで、目標達成に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆朝礼時にスケジュール等の確認を行い、情報を共有化することにより、業務の標準化と組織力の向上を図ります。

実績	朝礼時にスケジュールや関連する情報を確認、共有化することで、組織力の向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆各種研修会や府内の業務担当者会議等に積極的に出席するとともに、北河内地区の各農業委員会事務局との連携などを通じて、法令事務等に係るスキルアップに努め、職員力の向上を図ります。

実績	各種研修会や業務担当者会議に出席することで、北河内地区の各農業委員会事務局との連携を深め、職員の事務遂行能力の向上を図りました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

- ◆農業振興課職員との相互併任により、情報共有をはじめ、農業振興、農地保全等の業務に共同で取り組みます。

実績	農地情報の共有やふれあいツアーの従事など、農業振興事業について共同で取り組みを行いました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

## 5. 広報・情報発信

- ◆定期的に発行している市内農業者向け情報誌「枚方市農委だより」について、農業者に必要な情報を適時提供できるように内容の充実を図り、農業委員会活動をより身近に感じていただけるよう努めます。

実績	「枚方市農委だより」第56号を平成30年8月に、第57号を平成31年1月に発行し、農業者に必要な情報提供を行いました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

- ◆ホームページの内容を精査し、農地転用案件等の手続き等がよりわかりやすくなるよう、情報発信の充実に努めます。

実績	適宜、ホームページの更新を行い、わかりやすい情報提供に努めました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】